

90年超の信頼：キャピタル・インベストメント・ カンパニー・オブ・アメリカ ICAで築く豊かな未来

セミナー資料
2025年9月



米国株投資、
それは世界への投資の
第一歩

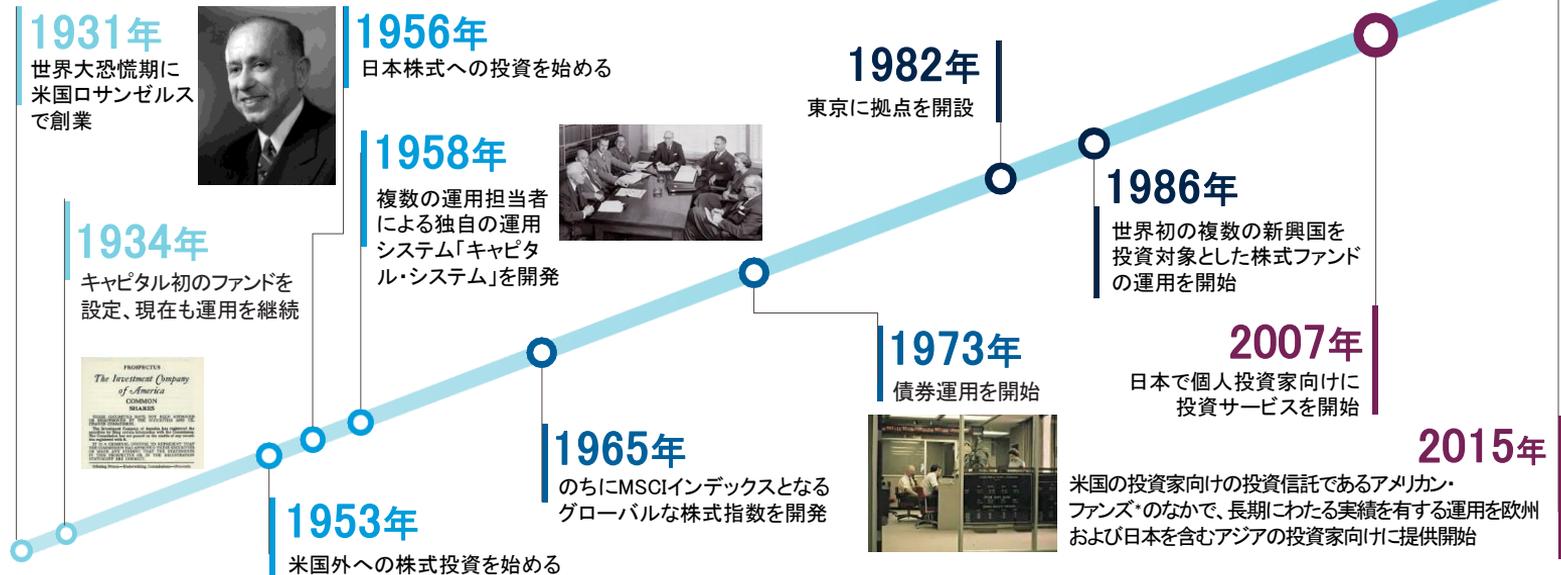
キャピタル・グループのご紹介

私たちのミッション

”Improving people’s lives through successful investing”

(投資の成功で人々の人生をより豊かにする)

キャピタル・グループの歴史



*米国籍のファンドであり、日本において販売されていません。また、これらのファンドの取引を推奨するものではありません。

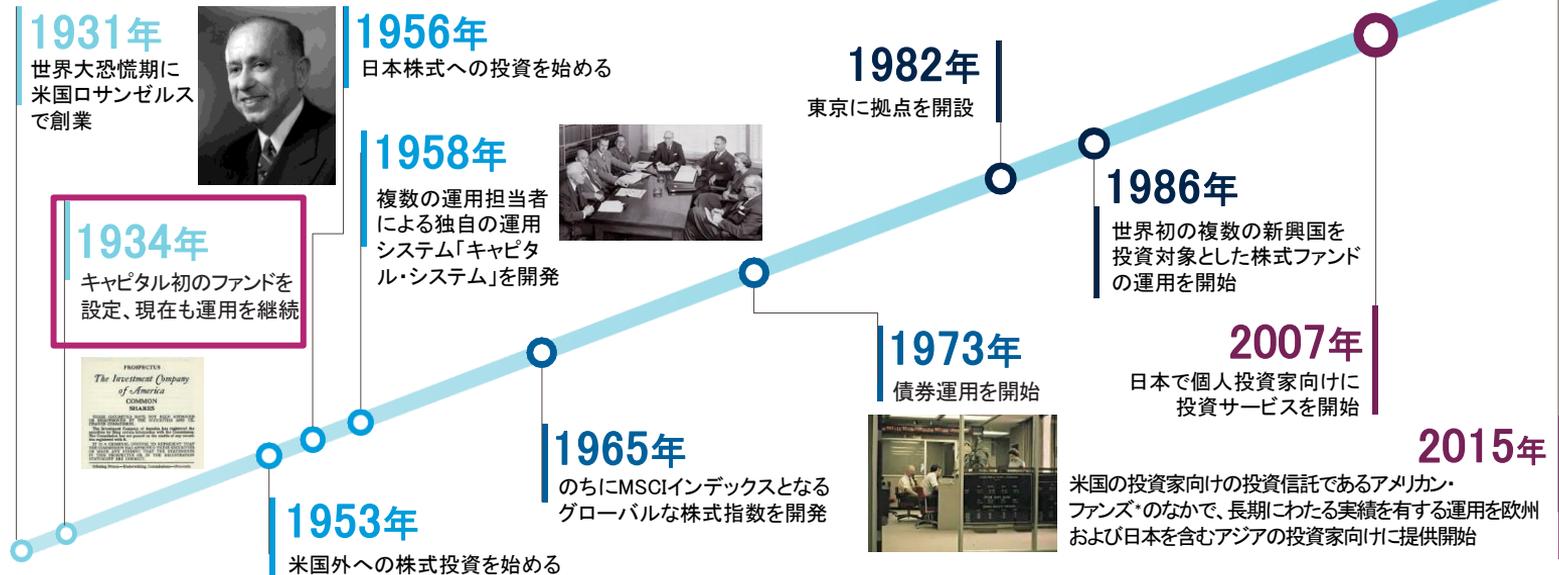
キャピタル・グループのご紹介

私たちのミッション

”Improving people’s lives through successful investing”

(投資の成功で人々の人生をより豊かにする)

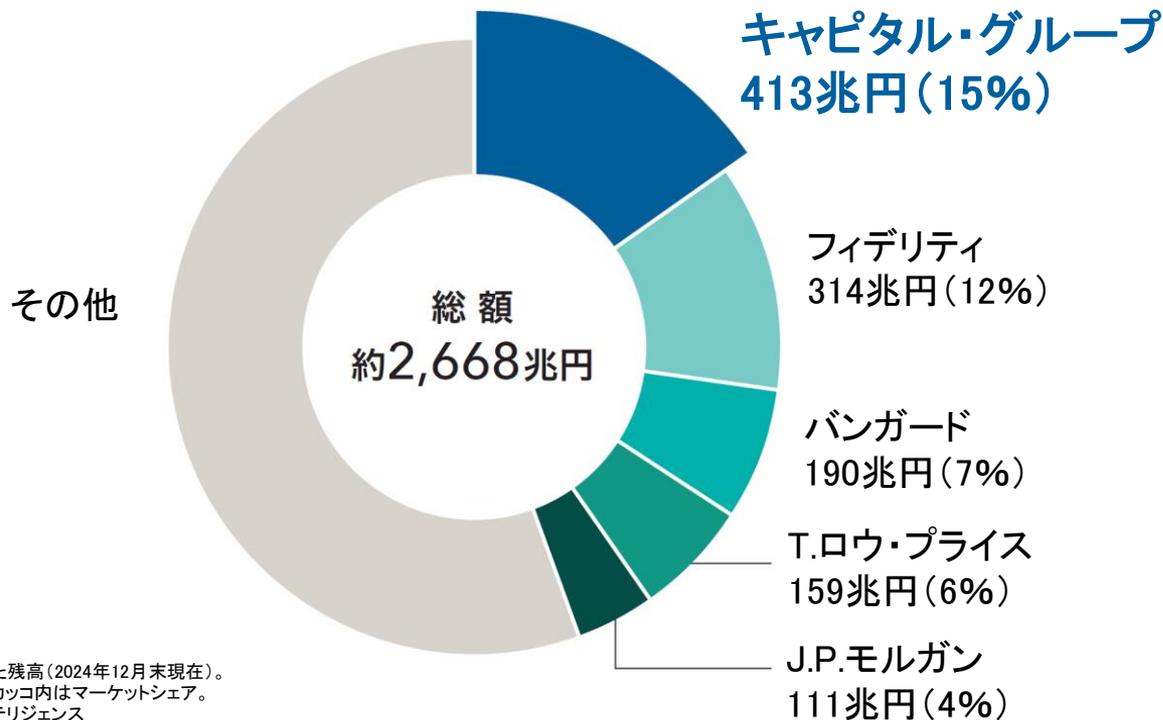
キャピタル・グループの歴史



*米国籍のファンドであり、日本において販売されていません。また、これらのファンドの取引を推奨するものではありません。

キャピタル・グループのご紹介

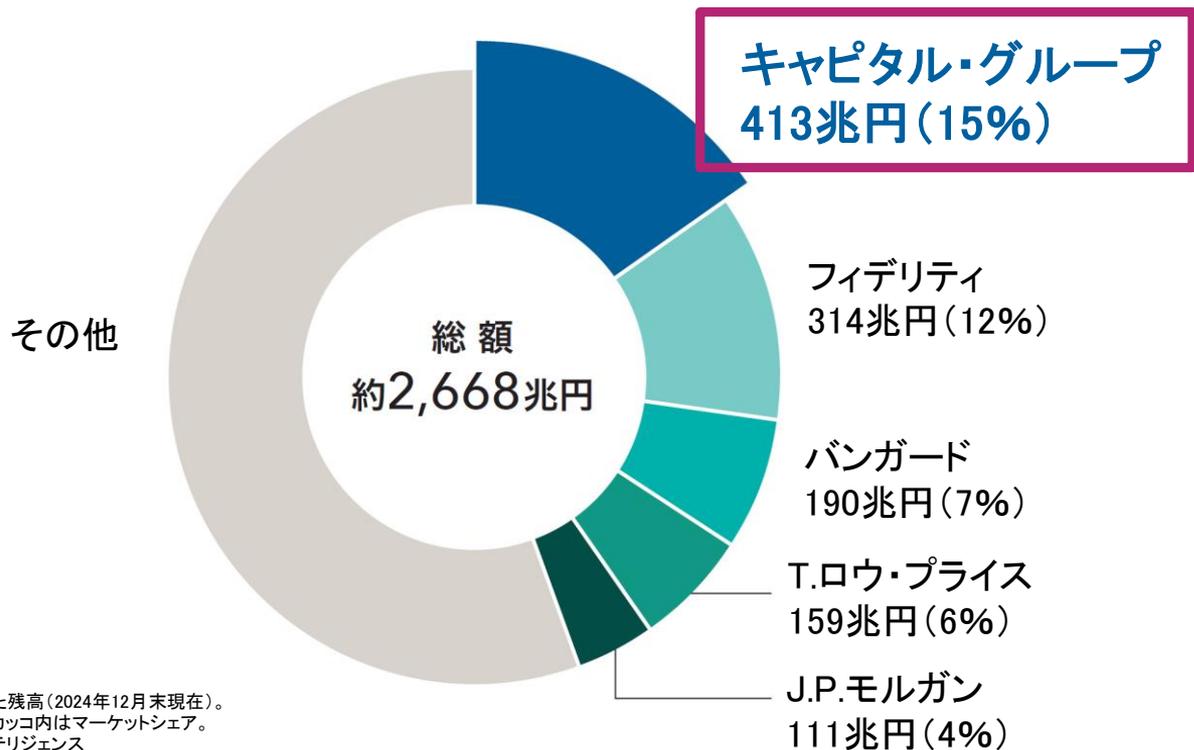
米国籍ファンドの会社別運用資産残高 (アクティブ・ファンド)



※MMF、ファンド・オブ・ファンズによる重複を除いた残高(2024年12月末現在)。
1米ドル=157.16円(2024年12月末)で円換算。カッコ内はマーケットシェア。
出所:ブロードリッジ・グローバル・マーケット・インテリジェンス

キャピタル・グループのご紹介

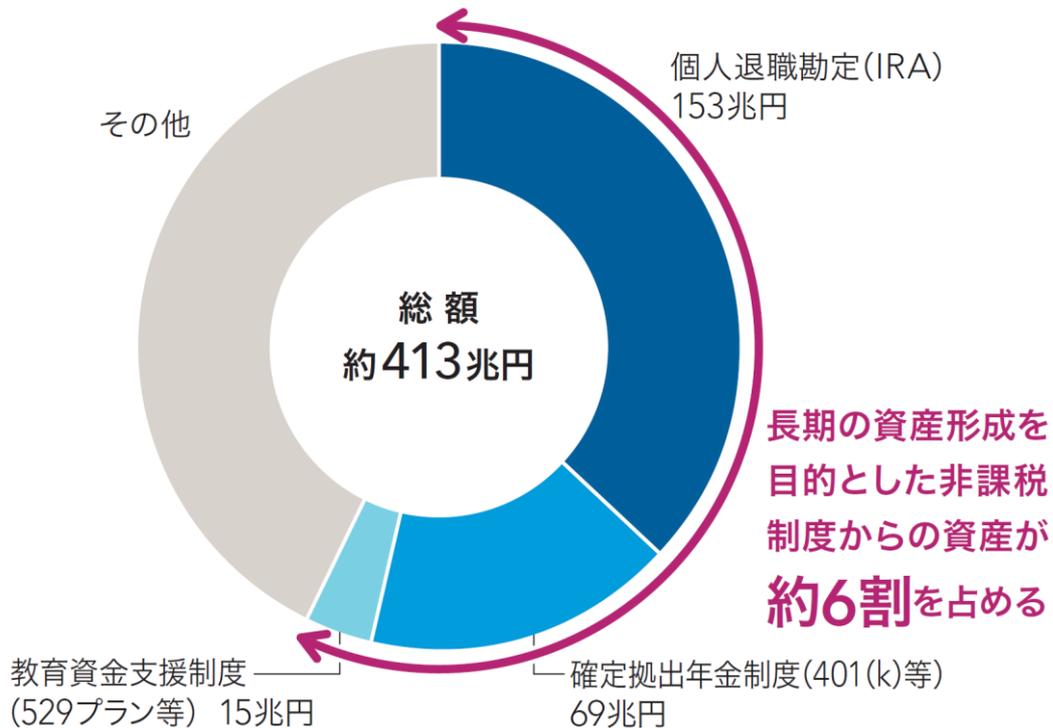
米国籍ファンドの会社別運用資産残高 (アクティブ・ファンド)



※MMF、ファンド・オブ・ファンズによる重複を除いた残高(2024年12月末現在)。
1米ドル=157.16円(2024年12月末)で円換算。カッコ内はマーケットシェア。
出所:ブロードリッジ・グローバル・マーケット・インテリジェンス

キャピタル・グループのご紹介

キャピタル・グループにおける 米国籍ファンドの運用資産残高の内訳



2024年12月末現在
1米ドル=157.16円で円換算

アクティブ・ファンドで圧倒的な存在感

米国籍アクティブ・ファンドの純資産残高ランキング(上位10ファンド)

	ファンド名	運用会社	運用資産	純資産残高 (兆円)	設定年
1	ザ・グロース・ファンド・オブ・アメリカ	キャピタル・グループ	株式	47	1973
2	アメリカン・バランスド・ファンド	キャピタル・グループ	複数資産	37	1975
3	ワシントン・ミューチュアル・インベスターズ・ファンド	キャピタル・グループ	株式	30	1952
4	ピムコ・インカム・ファンド	ピムコ	債券	27	2007
5	ザ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ	キャピタル・グループ	株式	24	1934
6	フィデリティ・コントラファンド	フィデリティ	株式	24	1967
7	ニューパースペクティブ・ファンド	キャピタル・グループ	株式	22	1973
8	ファンダメンタル・インベスターズ	キャピタル・グループ	株式	22	1978
9	ユーロパシフィック・グロース・ファンド	キャピタル・グループ	株式	20	1984
10	キャピタル・ワールド・グロース・アンド・インカム・ファンド	キャピタル・グループ	株式	20	1993

※MMF、ファンド・オブ・ファンズによる重複を除いたアクティブ・ファンドの純資産残高のランキング(2024年12月末現在)。純資産残高は1米ドル=157.16円(2024年12月末現在)で円換算。

※上記は米国籍のファンドであり、日本において販売されていません。また、これらのファンドの取引を推奨するものではありません。 出所: モーニングスター

アクティブ・ファンドで圧倒的な存在感

米国籍アクティブ・ファンドの純資産残高ランキング(上位10ファンド)

	ファンド名	運用会社	運用資産	純資産残高 (兆円)	設定年
1	ザ・グロース・ファンド・オブ・アメリカ	キャピタル・グループ	株式	47	1973
2	アメリカン・バランスド・ファンド	キャピタル・グループ	複数資産	37	1975
3	ワシントン・ミューチュアル・インベスターズ・ファンド	キャピタル・グループ	株式	30	1952
4	ピムコ・インカム・ファンド	ピムコ	債券	27	2007
5	ザ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ	キャピタル・グループ	株式	24	1934
6	フィデリティ・コントラファンド	フィデリティ	株式	24	1967
7	ニューパースペクティブ・ファンド	キャピタル・グループ	株式	22	1973
8	ファンダメンタル・インベスターズ	キャピタル・グループ	株式	22	1978
9	ユーロパシフィック・グロース・ファンド	キャピタル・グループ	株式	20	1984
10	キャピタル・ワールド・グロース・アンド・インカム・ファンド	キャピタル・グループ	株式	20	1993

※MMF、ファンド・オブ・ファンズによる重複を除いたアクティブ・ファンドの純資産残高のランキング(2024年12月末現在)。純資産残高は1米ドル=157.16円(2024年12月末現在)で円換算。

※上記は米国籍のファンドであり、日本において販売されていません。また、これらのファンドの取引を推奨するものではありません。 出所: モーニングスター

米国企業の「成長性」と「配当」に着目した運用

銘柄選択の主な着眼点

高い成長性



成長性が高く、長期的に
株価の上昇が期待できる企業



高水準の配当収入



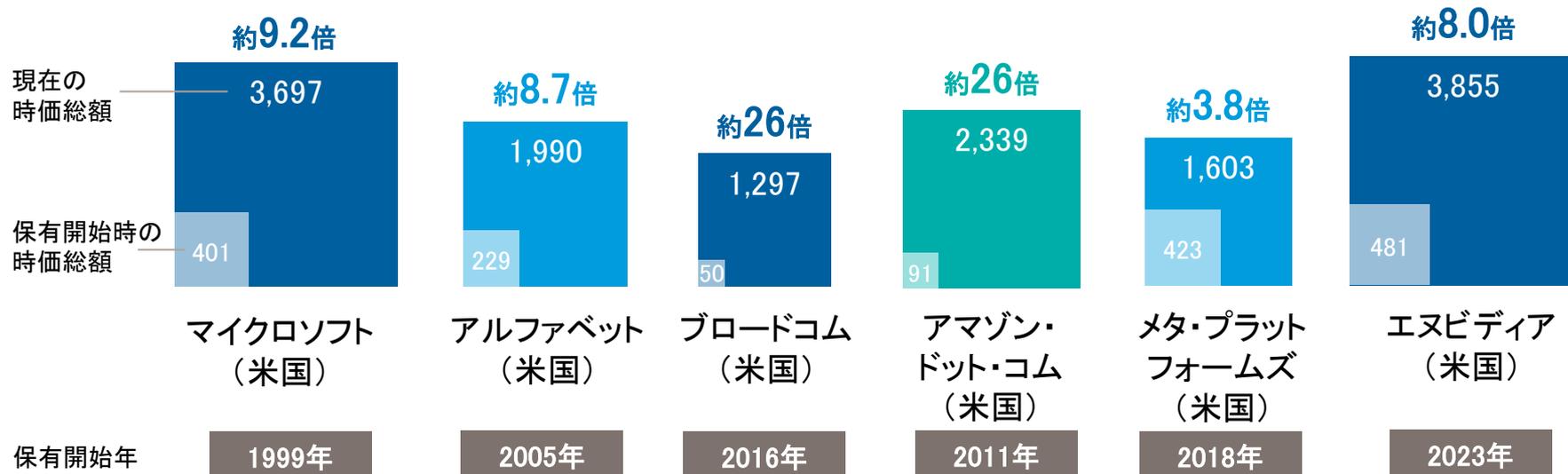
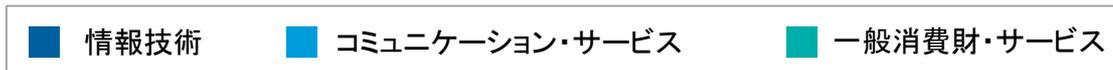
配当水準が高いだけでなく、
配当の継続性、成長性が期待できる企業

**株価の上昇と安定した配当の両方から
収益を獲得し、中長期的な資産の成長を目指す**

成長が期待される有望企業を早期に発掘

ICA運用保有上位6銘柄における時価総額の推移(2025年6月末)

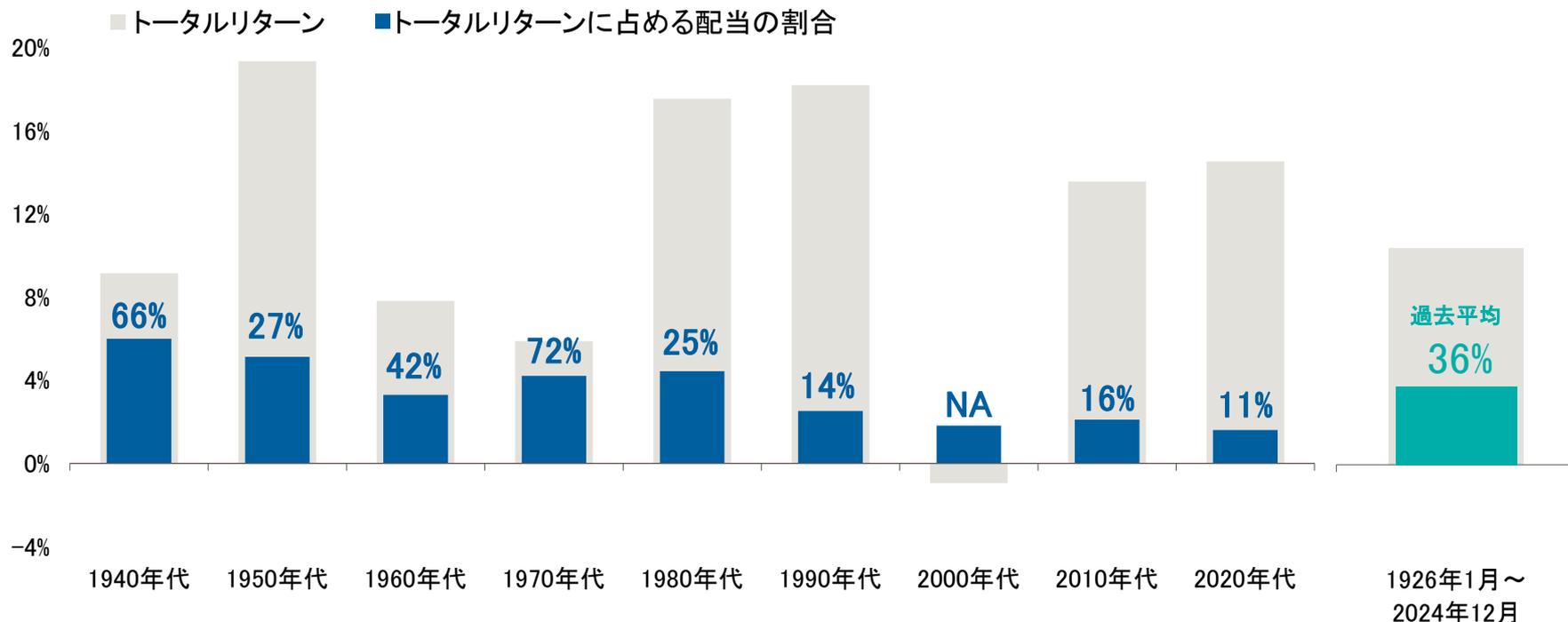
時価総額の単位は10億米ドル



※保有開始年はキャピタル・グループが保有を開始した年を記載。保有開始時の時価総額は保有を開始した日の市場における時価総額、現在の時価総額は2025年6月末時点の市場における時価総額を記載。
※上記は当運用戦略の情報提供を目的として記載したものであり、特定の国や業種、銘柄を推奨するものではありません。
出所：LSEG、キャピタル・グループ

株式投資における配当の重要性

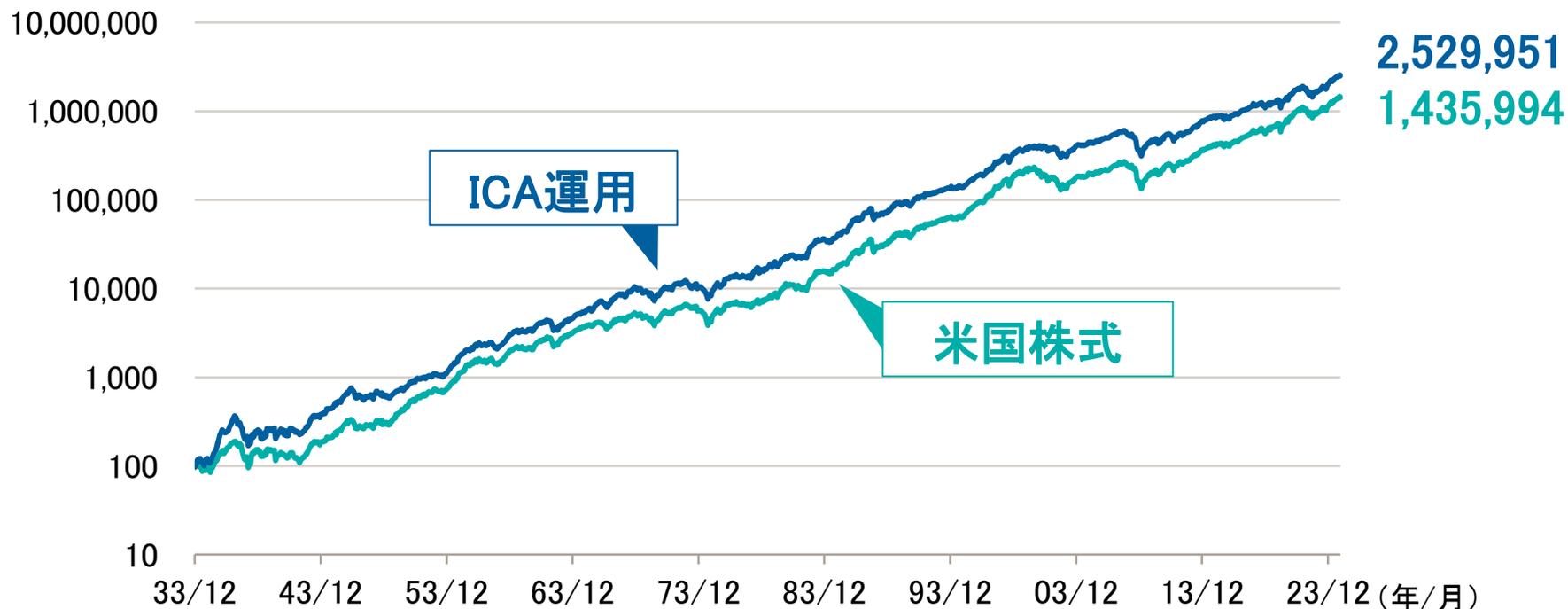
米国株式の年代別トータルリターン



※上記はS&P500種指数の米ドルベースのリターン(年率換算)。2020年代のデータは、2020年1月1日から2024年12月31日まで。2000年代のトータルリターンはマイナスであったため、配当の割合は算出不可。
出所: S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス・エルエルシー

90年以上にわたり良好な運用実績を実現

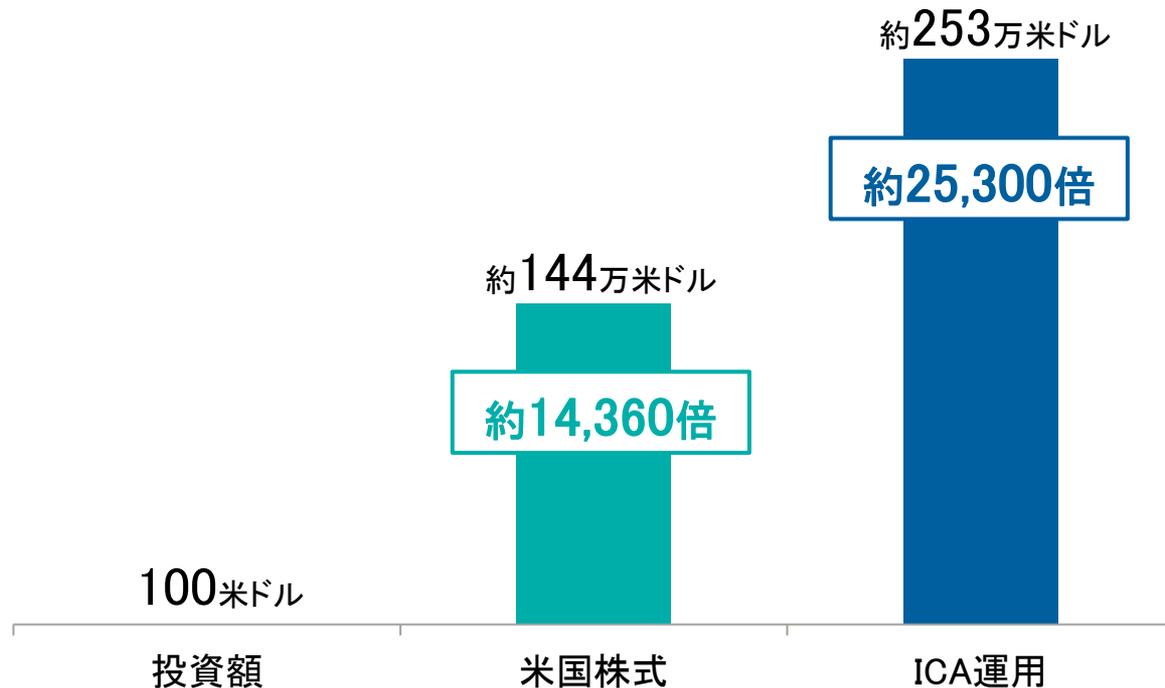
1933年12月末に100米ドルを投資した場合の試算



※上記は当ファンドのマザーファンドと同一の運用手法を用いた運用戦略の実績であり、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。
※ICA運用はコンボジット(トータルリターン、米ドルベース)を使用。購入時手数料3%および信託報酬等の費用年率1.08%(信託報酬1.03%、その他費用0.05%)相当を控除。米国株式はS&P500種指数(トータルリターン、米ドルベース)を使用。
出所:ブルームバーグ、キャピタル・グループ

90年以上にわたり良好な運用実績を実現

1933年12月末に100米ドルを投資した場合の2024年12月末の評価額

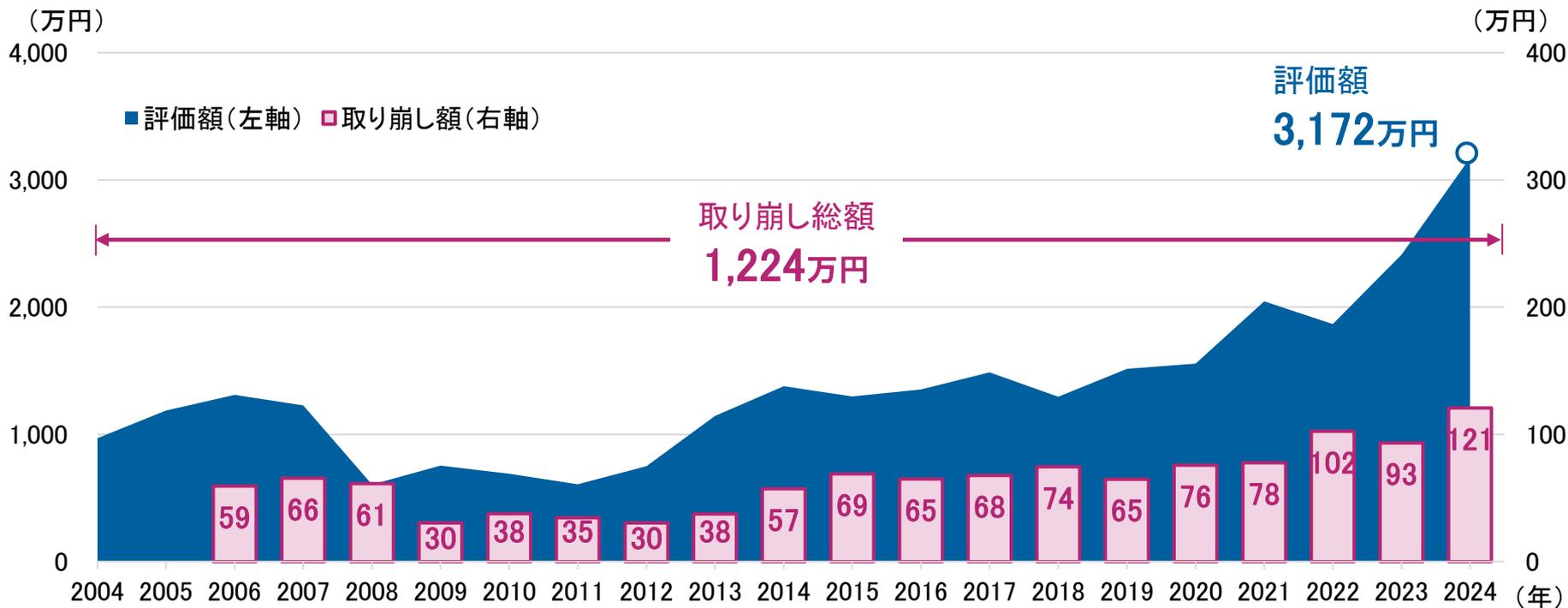


※上記は当ファンドのマザーファンドと同一の運用手法を用いた運用戦略の実績であり、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

※ICA運用はコンポジット(トータルリターン、米ドルベース)を使用。購入時手数料3%および信託報酬等の費用年率1.08%(信託報酬1.03%、その他費用0.05%)相当を控除。米国株式はS&P500種指数(トータルリターン、米ドルベース)を使用。 出所:ブルームバーグ、キャピタル・グループ

「運用しながら取り崩すこと」で、お金を長生きさせる

1,000万円をICA運用に一括投資して運用しながら毎年5%取り崩した場合の試算(20年)

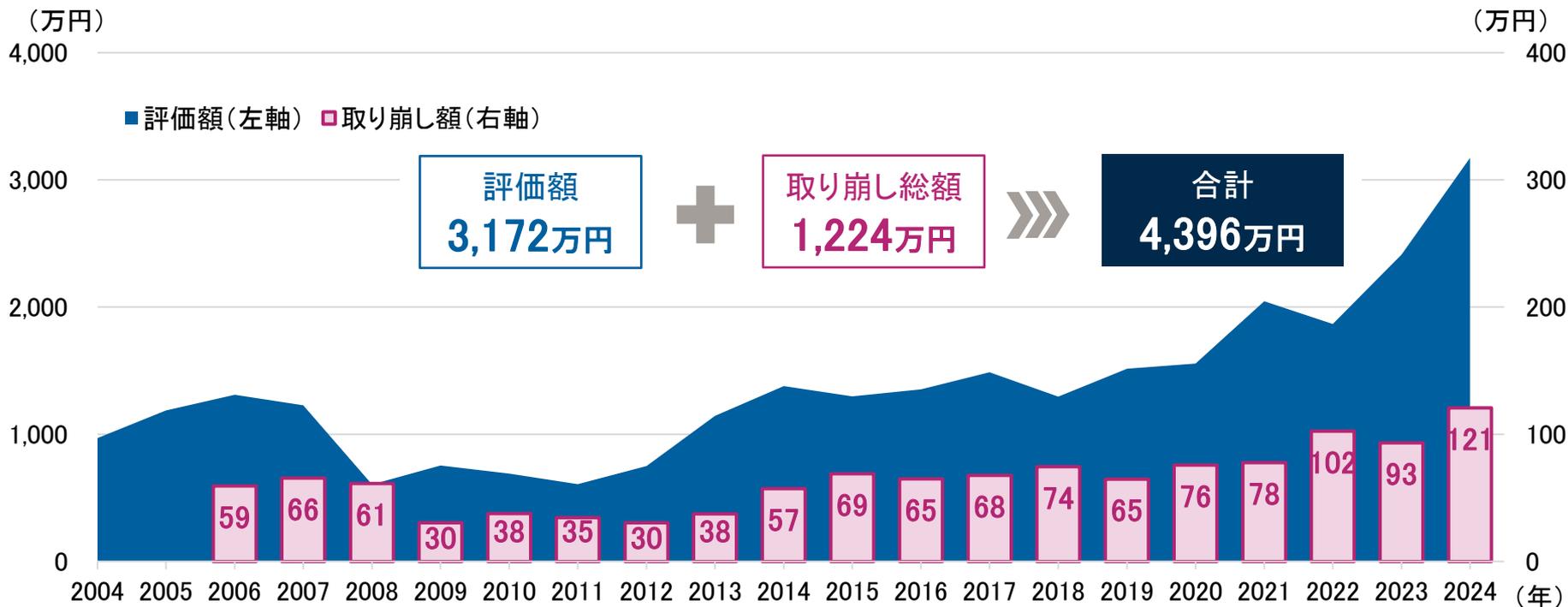


※上記は当ファンドのマザーファンドと同一の運用手法を用いた運用戦略の実績であり、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

※ICA運用はコンボジット(トータルリターン、円ベース)を使用。購入時手数料3%および信託報酬等の費用年率1.08%(信託報酬1.03%、その他費用0.05%)相当を控除。各年の取り崩し額は前年末の評価額の5%を当年年初に取り崩したと仮定して算出。また、投資開始より1年据え置いた後、取り崩しを始めたと仮定しています。なお、投資開始は初年の年末としています。

「運用しながら取り崩すこと」で、お金を長生きさせる

1,000万円をICA運用に一括投資して運用しながら毎年5%取り崩した場合の試算(20年)

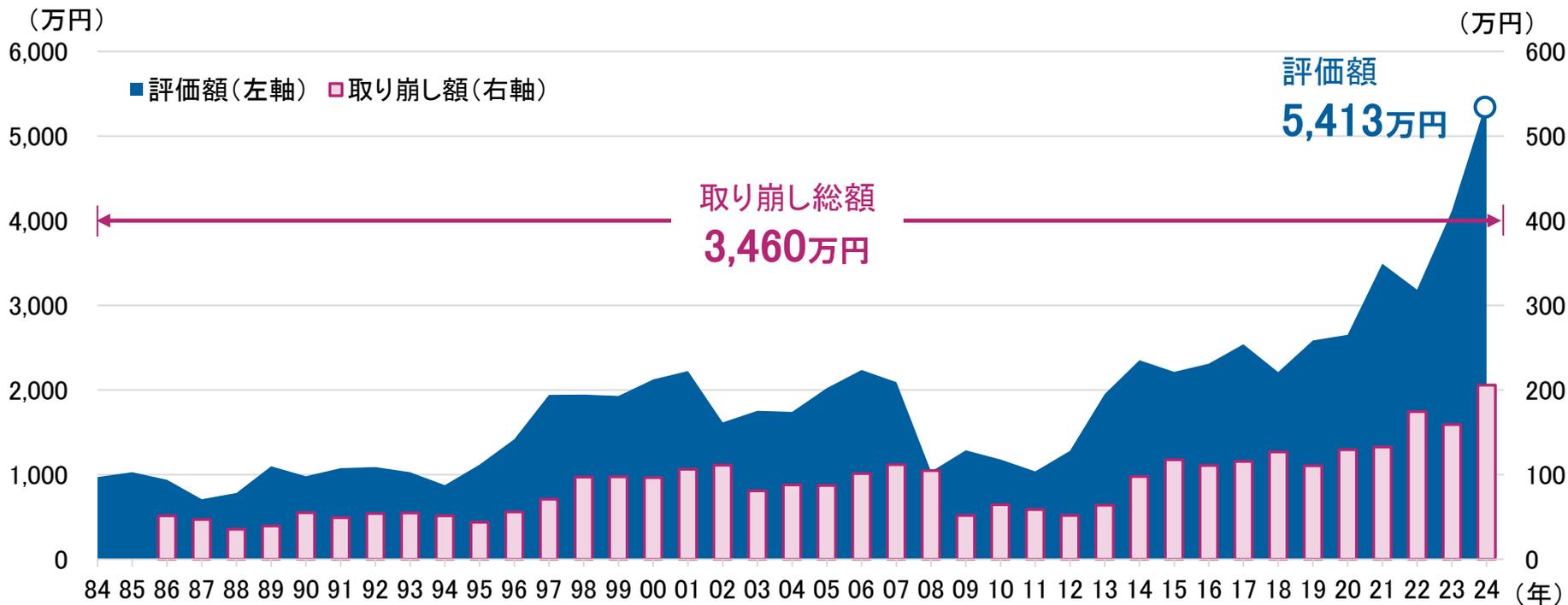


※上記は当ファンドのマザーファンドと同一の運用手法を用いた運用戦略の実績であり、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

※ICA運用はコンボジット(トータルリターン、円ベース)を使用。購入時手数料3%および信託報酬等の費用年率1.08%(信託報酬1.03%、その他費用0.05%)相当を控除。各年の取り崩し額は前年末の評価額の5%を当年年初に取り崩したと仮定して算出。また、投資開始より1年据え置いた後、取り崩しを始めたと仮定しています。なお、投資開始は初年の年末としています。

「運用しながら取り崩すこと」で、お金を長生きさせる

1,000万円をICA運用に一括投資して運用しながら毎年5%取り崩した場合の試算(40年)

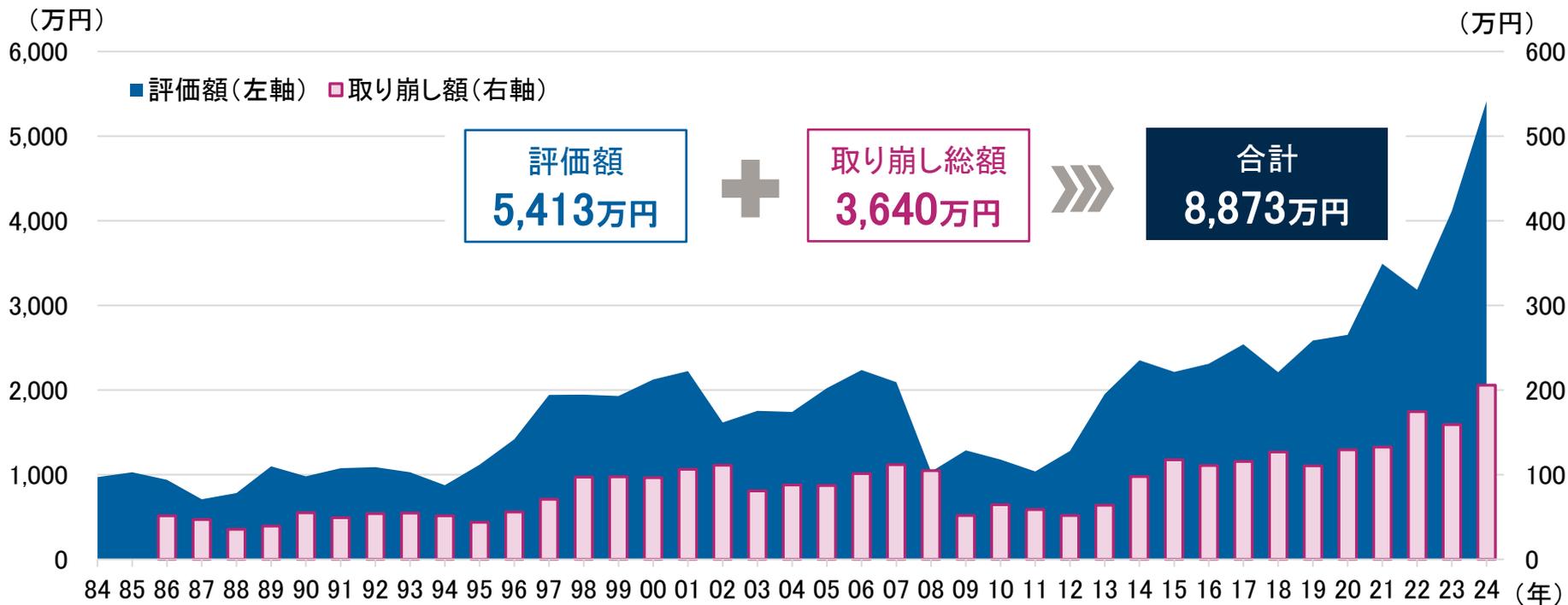


※上記は当ファンドのマザーファンドと同一の運用手法を用いた運用戦略の実績であり、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

※ICA運用はコンボジット(トータルリターン、円ベース)を使用。購入時手数料3%および信託報酬等の費用年率1.08%(信託報酬1.03%、その他費用0.05%)相当を控除。各年の取り崩し額は前年末の評価額の5%を当年年初に取り崩したと仮定して算出。また、投資開始より1年据え置いた後、取り崩しを始めたと仮定しています。なお、投資開始は初年の年末としています。

「運用しながら取り崩すこと」で、お金を長生きさせる

1,000万円をICA運用に一括投資して運用しながら毎年5%取り崩した場合の試算(40年)

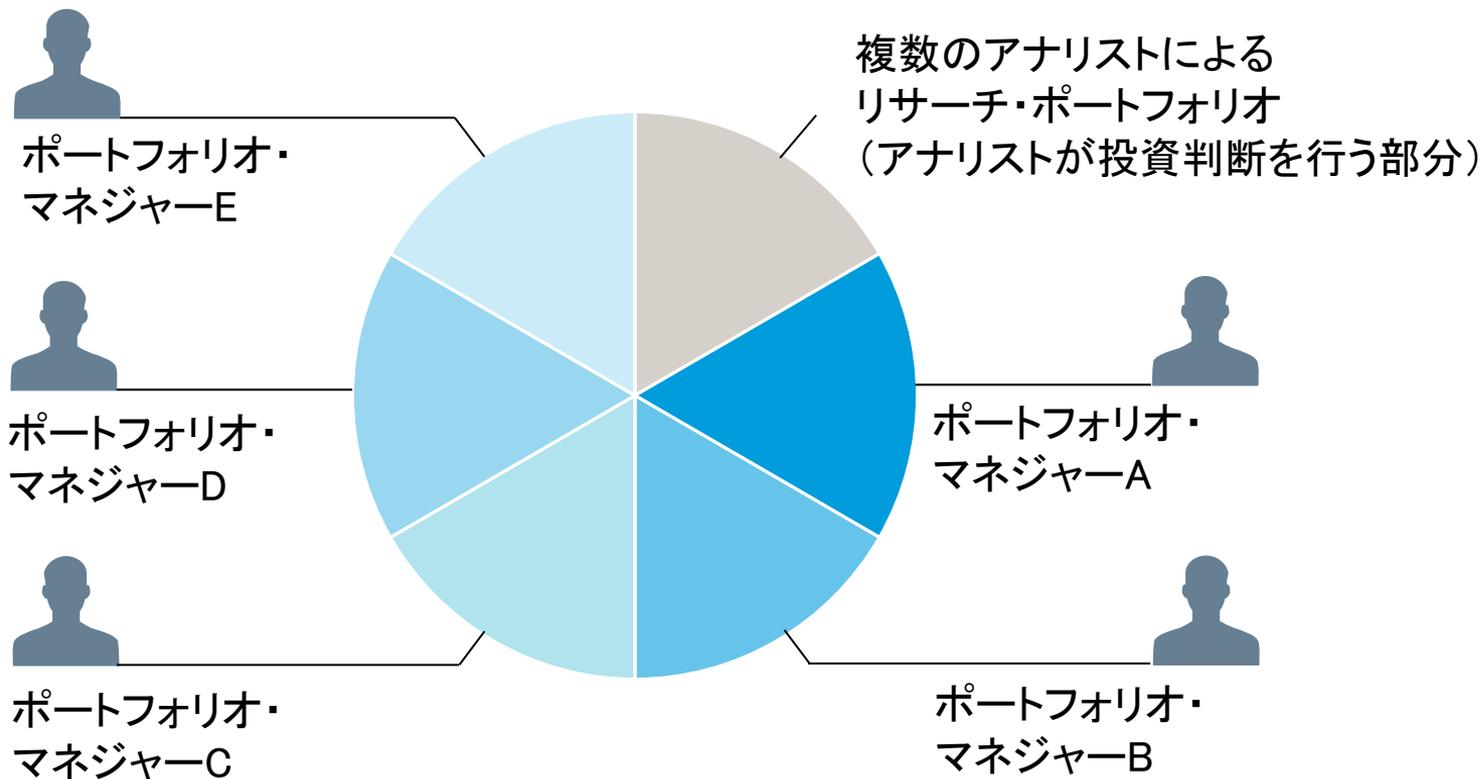


※上記は当ファンドのマザーファンドと同一の運用手法を用いた運用戦略の実績であり、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

※ICA運用はコンジョイント(トータルリターン、円ベース)を使用。購入時手数料3%および信託報酬等の費用年率1.08%(信託報酬1.03%、その他費用0.05%)相当を控除。各年の取り崩し額は前年末の評価額の5%を当年年初に取り崩したと仮定して算出。また、投資開始より1年据え置いた後、取り崩しを始めたと仮定しています。なお、投資開始は初年の年末としています。

独自の運用手法「キャピタル・システムとは」

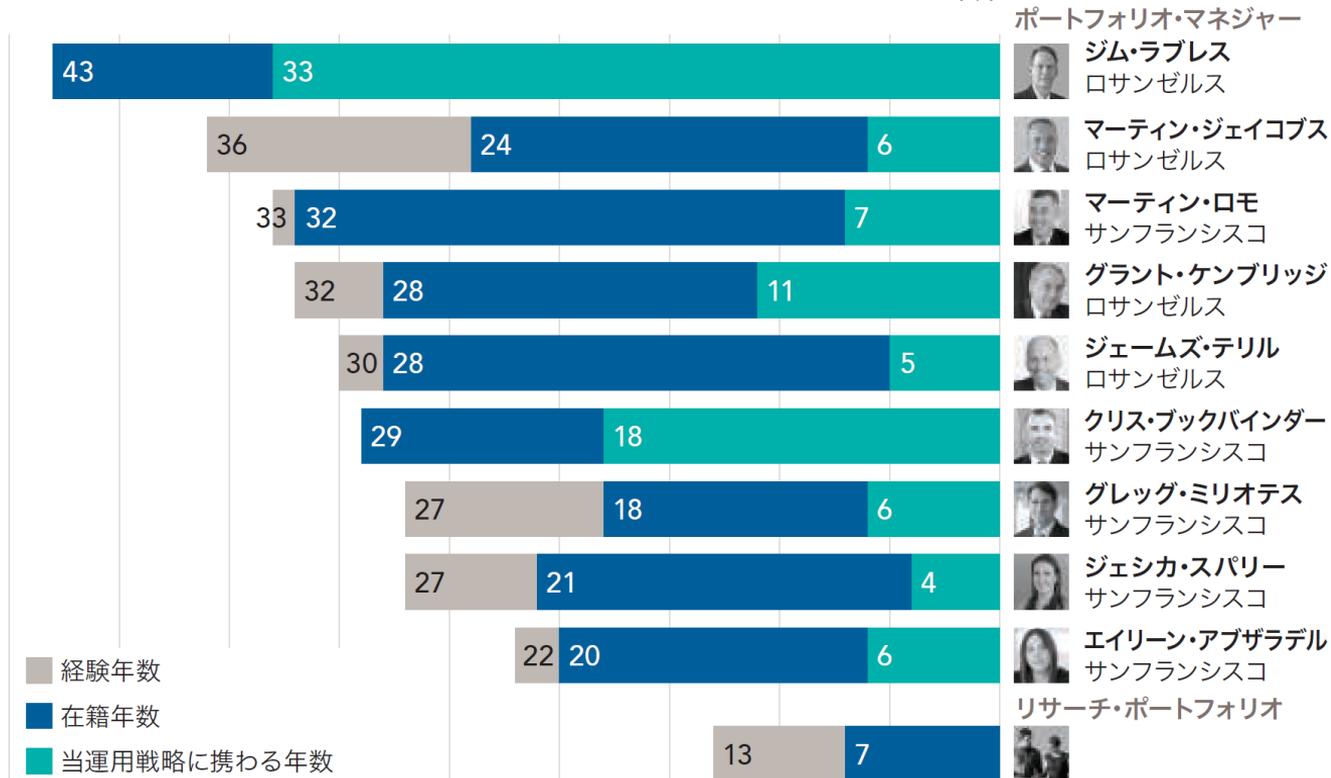
キャピタル・システムによるポートフォリオ分割のイメージ



チーム運用により運用の継続性・再現性を実現

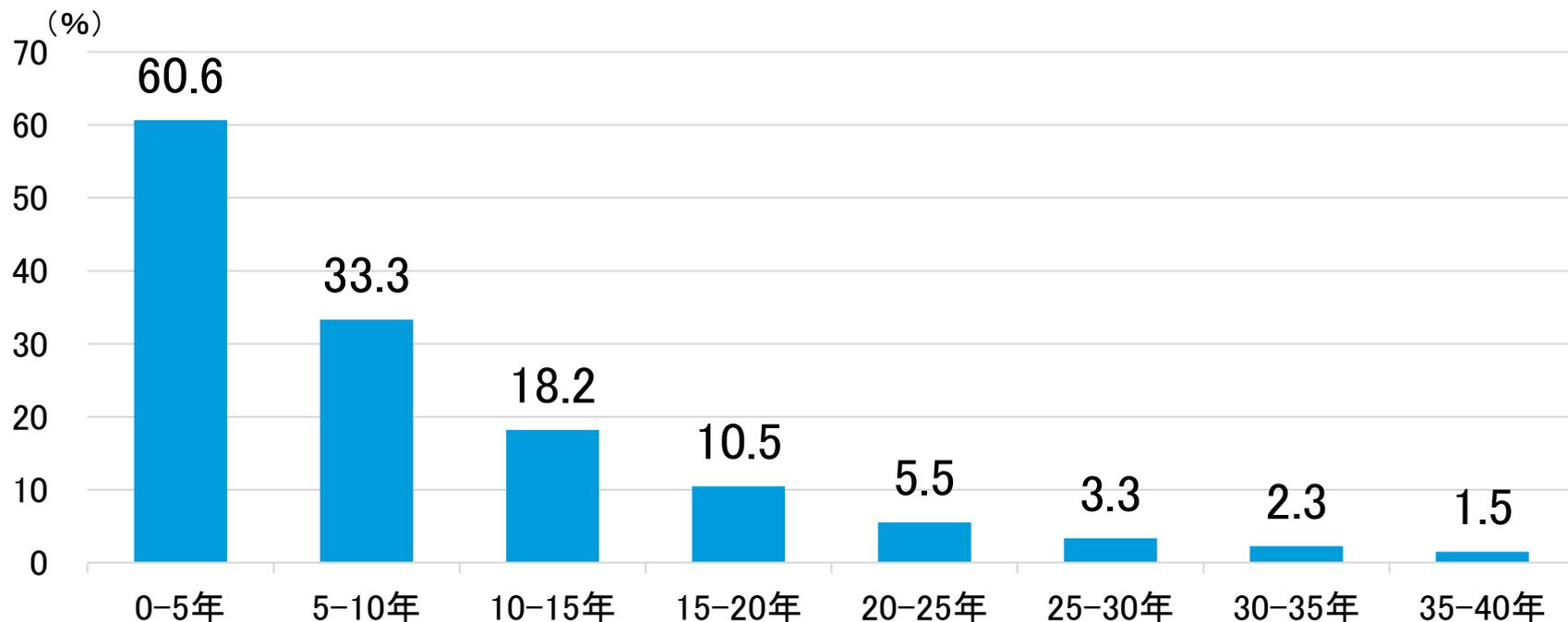
運用経験年数、在籍年数、当運用戦略に携わる年数

1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 (年)



米国籍株式アクティブファンドの過去40年の生存率は1.5%

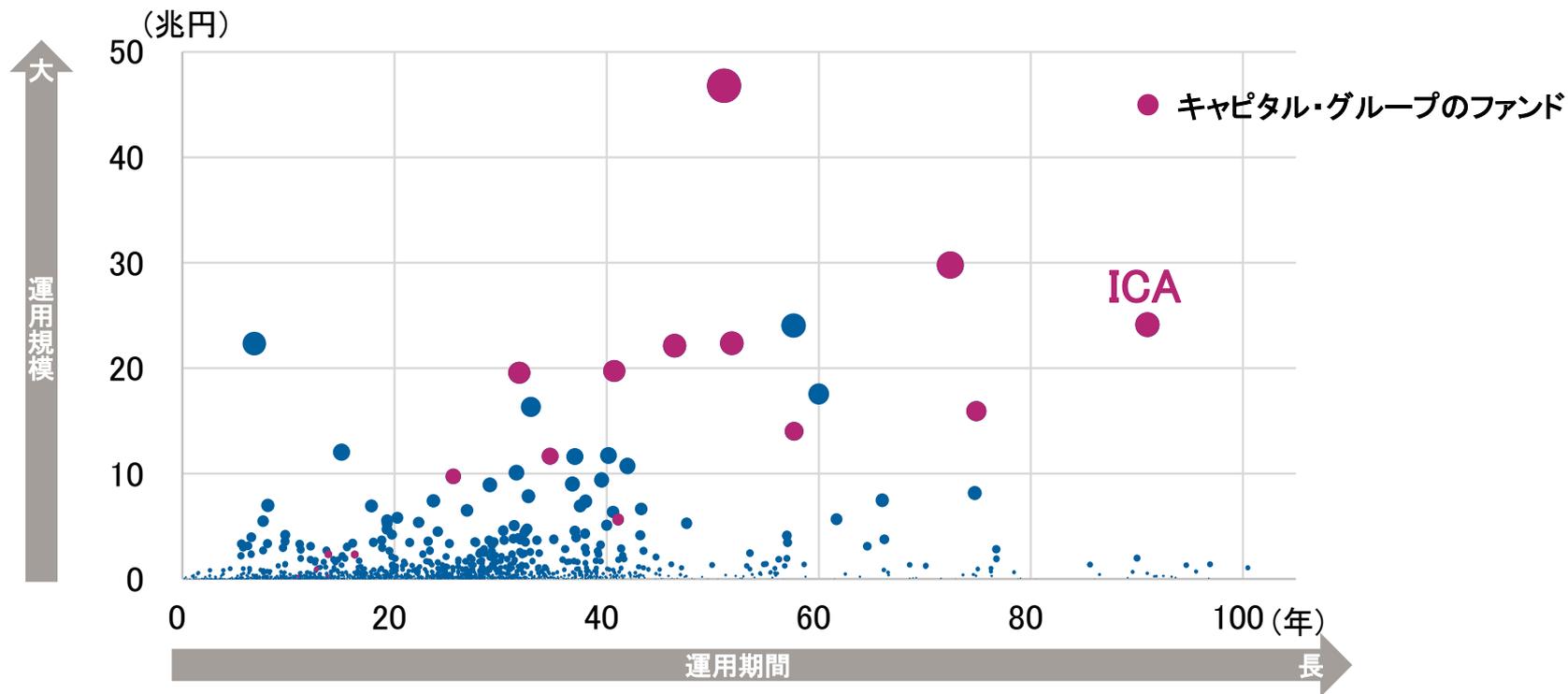
米国籍株式アクティブ・ファンドの生存率



※2025年6月末現在。過去償還した米国籍株式アクティブ・ファンド(総本数5,699本)が対象。
出所: モーニングスター

長期にわたり投資家から得てきた信頼

米国籍株式アクティブ・ファンドの運用期間と運用規模



※2024年12月末現在。運用期間はファンドの設定来年数、運用規模はファンドの純資産残高。円の大きさは運用規模を表す。米国籍株式アクティブ・ファンドの総本数3,106本が対象。純資産残高は1米ドル=157.16円(2024年12月末)で円換算。 出所:モーニングスター

「米国個人投資家の声」のご紹介

キャピタルのファンドを保有し続け、退職後、経済的な安心感を得た
ブレイン・ワイリーさんのストーリーをご紹介します。



ファンドの主なリスク

当ファンドは、マザーファンドを通じて、値動きのある有価証券に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産は為替の変動による影響も受けます。したがって、**投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。**

基準価額の変動要因(基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

● 価格変動リスク

当ファンドが実質的に投資を行なう株式・債券等の価格は、政治・経済・社会情勢、株式等の発行企業や債券等の発行体の業績や信用度、金利の変動、市場の需給関係等を反映して変動します。債券等には債務不履行等となるリスクもあります。当ファンドが実質的に投資している株式・債券等の価格が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

● 為替変動リスク

当ファンドが実質的に投資を行なう外貨建資産の円換算価値は、当該資産における価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替相場の変動の影響を受け、損失を被る場合があります。為替相場の変動が円高に推移した場合は、当ファンドの基準価額の下落要因となります。

● 信用リスク

株式・債券等の発行体が経営不安、倒産、債務不履行となるおそれがある場合、または実際に債務不履行となった場合等には、当ファンドは実質的に保有する有価証券等の価格変動によって重大な損失を被ることがあります。

● 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行なうことができない場合には、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となり、基準価額の下落要因となることがあります。

● カントリーリスク

投資対象としている国や地域において、政治・経済・社会情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合等には、予想外に基準価額が下落したり、運用方針に沿った運用が困難となったりする場合があります。

お申込みメモ

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

	キャピタル・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ ICA	キャピタル・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ ICA 年2回決算分配重視)
購入単位	販売会社が定める単位	
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額	
購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。	
換金単位	販売会社が定める単位	
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額	
換金代金	原則、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。	
申込締切時間	原則として午後3時30分までに、販売会社が受けた分を当日のお申込み分とします。	
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日に当たる日です。	
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうため、1日1件10億円を超える換金は行なえません。また、信託財産の残高規模、市場の流動性の状況等によっては、委託会社は、一定の金額を超える換金のご請求に制限を設けること、または純資産総額に対し一定の比率を超える換金のご請求を制限する場合があります。	
スイッチング	販売会社指定のファンド間でスイッチングが可能です。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行なわない場合があります。	
信託期間	無期限(2018年1月31日設定)	無期限(2022年9月28日設定)
決算日	毎年10月20日(休業日の場合は翌営業日)	毎年4月20日および10月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回(10月)の決算時に原則として、分配方針に基づき分配を行ないません。 ただし、委託会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。なお、分配金の再投資が可能です。	年2回(4月および10月)の決算時に原則として、分配方針に基づき分配を行ないません。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除および益金不算入制度の適用はありません。	

※購入・換金のお申込みの方法等は、上記と異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ファンドの費用

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お客様が直接的に負担する費用

購入時手数料	3.30% (税抜3.00%) の手数料を上限として、販売会社が個別に定める率を購入価額に乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。

お客様が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に対して 年率1.133% (税抜1.03%) の信託報酬率を乗じて得た額とします。信託報酬は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6か月の終了日および毎計算期末または信託終了のときに当ファンドから支払われ、その支払先への配分等は下記のとおりです。		
	委託会社: 年率0.50% (税抜)	販売会社: 年率0.50% (税抜)	受託会社: 年率0.03% (税抜)
その他の費用・手数料	マザーファンドの投資顧問会社の報酬は、委託会社が支払います。 法定開示にかかる費用(監査費用、法定書類の作成および印刷費用等): 年率0.05%以内(税込)、資産管理費用、資金の借入にともなう借入金の利息および有価証券の借入にともなう品借料、受託会社による資金の立替にともなう利息、有価証券等の売買委託手数料等が信託財産より支払われます。これらの費用等は運用状況等により変動するものであり、そのすべてについては事前に料率、上限額を表示することができません。		

※上記の費用の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社	キャピタル・インターナショナル株式会社(ファンドの運用の指図等を行ないます。) 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第317号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	キャピタル・インターナショナル・インク(委託会社より運用指図に関する権限の委託を受け、マザーファンドの運用の指図を行ないます。) ※キャピタル・インターナショナル・インクは、運用の指図に関する権限の一部をキャピタル・リサーチ・アンド・マネジメント・カンパニー、キャピタル・グループ・インベストメント・マネジメント・プライベート・リミテッド、キャピタル・リサーチ・カンパニーおよびキャピタル・インターナショナル・リミテッドに委託します。
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理等を行ないます。)
販売会社	株式会社SBI証券(ファンドの募集・販売の取扱い等を行ないます。) 金融商品取引業者、商品先物取引業者 関東財務局長(金商)第44号 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会



【投資信託のお申込みに関する留意点】投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【当資料に関する留意点】当資料は、キャピタル・インターナショナル株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると判断したデータ等により作成していますが、情報の正確性、完全性等について保証するものではありません。当資料に記載されたデータ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の運用成果等を保証または示唆するものではありません。当資料の内容は作成日時点のものであり、今後変更されることがあります。

SBI証券からのご留意事項

- 本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。SBI証券は、セミナー及び資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。また、過去の実績や予想等は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。商品ご購入の最終決定は、商品の内容、リスク及び費用等を十分ご理解いただきましたうえで、お客様ご自身の判断と責任で行っていただきますようお願いいたします。
- ご投資にあたっては、商品概要や目論見書（目論見書補完書面）をよくお読みください。
- SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

SBI証券

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会、
日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会